

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1. 建物概要			
建物名称	(仮)つしまの郷		
建設地	新潟市東区津島屋7丁目1番,2番,3番,1.4番		
用途地域	工業地域、防火指定なし		
建物用途	病院,		
竣工年	2018年10月 竣工		
敷地面積	2,422.94 m <sup>2</sup>		
建築面積	1,020.35 m <sup>2</sup>		
延床面積	2,458.56 m <sup>2</sup>		
階数	地上3F		
構造	S造		
評価の段階	実施設計段階評価		
評価の実施日	2018年3月27日		
2. CASBEE新潟の評価結果			
		B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{40.3}{49.8} = 0.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★			
3. 新潟市の重点項目の評価			
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.2		バリアフリー計画 Q2.1.1.3 3.0 維持管理 Q2.1.3 3.5 設備の更新性 Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.4		耐震・免震・制震・制振 Q2.2.1 3.0 信頼性 Q2.2.4 1.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減 LR3.2.3.1 2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		建物外皮の熱負荷抑制 LR1.1 5.0 自然エネルギー利用 LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.0		節水 LR2.1.1 3.0 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 LR2.2.4 3.0 部材の再利用可能性向上への取組み LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出 Q3.1 1.0 敷地内温熱環境の向上 Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮 Q3.2 3.0 地域性への配慮、快適性の向上 Q3.3.1 3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項			
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE®新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)つしまの郷	階数	地上3F
建設地	新潟市東区津島屋7丁目1番.2番.3番.3番.1.4番	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	48人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 竣工	評価の実施日	2018年3月27日
敷地面積	2,423㎡	作成者	佐藤 勝俊
建築面積	1,020㎡	確認日	2018/3/
延床面積	2,459㎡	確認者	〇〇〇



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 維持管理やランニングコスト削減の為、耐用更新期間の長い建築材料の使用並びに建物の断熱性能の向上を図る		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 建物外周にバルコニーを設け開口部にカーテン等を設置して昼光制御を行い光・視環境に配慮する。又、内装材にF☆☆☆☆建材を使用し全館禁煙として空気室環境に配慮する。	<b>Q2 サービス性能</b> 更新期間長期化を考慮した主要内装仕上げ材の使用及び空調・給排水配管の使用により建物の耐用性・信頼性に配慮する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> 建物外皮の熱負荷抑制として断熱材の強化・開口部の複層ガラス・Low-eガラスの採用により建物の環境負荷低減に配慮する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ノンフロン断熱材を採用により、汚染物質含有材料の使用を回避する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される